

安心して救急医療を受診するために

あいきゅういち・よん・ななうんどう

愛救147運動にご協力を

愛救147運動とは、愛媛の救急医療を守るため、147万県民の皆さんに、医療機関や救急車の適切な利用を心掛けていただく取り組みです。

救急医療の現状

全国的に医師不足が社会問題となつていますが、愛媛県も例外ではありません。今や、へき地の診療所だけでなく、地域の中核病院でも勤務医不足が深刻な問題となつています。

一方で、休日や夜間に二次救急や三次救急を担う病院の救急外来に患者さんが集中し、その病院に勤務する医師からは、もう限界との声も聞こえてきます。また、緊急性のない場合に安易に救急車を利用すると、生死にかかわる患者の病院への搬送を妨げる恐れもあります。

このままでは、県民の皆様に必要な医療を提供できなくなる恐れがあります。そうならない

ためには、医療機関や救急車を適正に利用するという県民一人ひとりの心がけと協力が必要です。

普段からの心がけ

○日頃から何でも相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心がけましょう。

○健康診断等を積極的に受け、病気の予防や早期発見に努めましょう。

○病気やケガに備えて、薬を常備しましょう。

医療機関での受診にあたって

なるべく医療機関の通常診療時間内に受診しましょう。救急医療はあくまで緊急事態に備えるもので限られた医療スタッフで運営されています。

通常の診療時間の方が、検査などを含めた診療体制が整っています。救急車で搬送されても、症状によっては、外来患者さん同様、受付順の診察になる場合

があります。

休日や夜間での比較的症状の軽い方は、地域の休日夜間急患センターや在宅当番医を利用しましょう。

症状は軽いけれど、どうすれば…

症状は軽いけど、休日や夜間に、どの病院に行けばよいか分からぬ場合には、えひめ医療情報ネットを参考にされるか、最寄りの消防署にご連絡いただければ、必要な情報を提供いたします。

お子さんが急な病気やけがで心配なときには、小児救急医療電話相談をご利用ください。

なお、初期救急医療機関で受診され、入院や手術の必要があると認められる場合には、直ちに二次、三次医療機関と連携して診療してもらえますので、ご安心ください。



インターネットで検索する

えひめ医療情報ネット

◎病院や診療所を受診するにあたって、役立つ情報を提供します。

◎初期救急の実施状況や連絡先が確認できます。

ホームページ

パソコン <http://www.qq.pref.ehime.jp/>

携帯電話 <http://www.qq.pref.jp/kt.asp>

電話で相談する

小児救急医療電話相談

◎お子さんが急な病気やけがで心配な時にご相談ください。経験豊富な看護師や医師がご相談に応じます。

電話番号 携帯電話、プッシュ回線 #8000

ダイヤル回線 089-913-2777

相談時間 毎日19時～23時